

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 城平 守朗

0858-75-6600

閲覧資料

- 定 款（2020年6月17日現在）…………… 1P～4P
- 役員名簿（2020年6月17日現在）…………… 5P
- 事業報告（2019年度分）…………… 6P～10P
- 貸借対照表（2019年度分）…………… 11P
- 損益計算書（2019年度分）…………… 11P
- 株主資本等変動計算書（2019年度分）……… 12P

○定 款

第 1 章 総 則

(商号)

第 1 条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第 3 条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第 4 条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第 2 章 株 式

(発行する株式の総数)

第 5 条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式 1 株の金額)

第 6 条 当社の発行する額面株式の 1 株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第 7 条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1 株券、10株券及び100株券の 3 種類とする。

(株式の譲渡制限)

第 8 条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければなら

ない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当会社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当会社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当会社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当会社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当会社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は

代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。

3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。

3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選

出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

- 2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。
- 3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

- 2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

- 2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2020年6月17日現在)

取締役会長	平井 伸治	取締役	萩原 誠司
取締役副会長	荒木 一聡		庵途 典章
	菊池 善信		遠山 寛
代表取締役社長	城平 守朗		杉原 伸治
代表取締役常務	松本 俊一		小野澤 弘成
取締役	深澤 義彦		丸山 明則
	吉田 英人		
	寺谷 誠一郎	石田 耕太郎	
	青木 秀樹	三宅 智章	
		監査役	

○第34期（2019年度）事業報告

I. 営業の概況

1. 業務執行状況

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

(1) 輸送人員

特急列車の輸送人員は、上期につきましては、10連休となったゴールデンウィークの影響、前年度に発生した大阪府北部地震や「平成30年7月豪雨」による落ち込みの反動などにより、2009年度以降の11年間で最も多くなりましたが、下期につきましては、10月の台風接近に伴う特急列車の運転休止、冬季の降雪が少なく利用が他の交通手段に流れたこと、さらに2月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行、企業の出張、各種イベント等の自粛などにより減少し、特に3月については前期比で56.3%の大幅な減少となる等により前期を下回りました。列車別では、「スーパーはくと」が3月単月で57.7%減少し、当期の累計では前期比2.1%減の598,990人、「スーパーいなば」が3月単月で52.9%減少したものの、当期の累計では前期比0.6%増の249,761人となり、特急列車全体では当期の累計で前期比1.3%減(△11,332人)の848,751人となり、過去5年間で最も少ない輸送人員となりました。

普通列車は、2月までは前年度並で推移していましたが、3月については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う高校の臨時休校等の影響等により前期比で45.3%の大幅な減少となる等により、当期の累計は前期比3.4%減の274,204人となりました。

(単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比
スーパーはくと	598,990	611,856	△12,866	97.9
スーパーいなば	249,761	248,227	1,534	100.6
特急列車計	848,751	860,083	△11,332	98.7
普通列車	274,204	283,830	△9,626	96.6

(2) 収支状況

収入につきましては、旅客運輸収入は輸送人員の減少により前期比2.1%の減、運輸雑収入は列車の運転休止が減少したことに伴う受取車両使用料の増加等により前期比7.0%の増となり、営業収益は前期比2.6%(70百万円)増の2,763百万円となりました。

費用につきましては、安全対策の強化に伴い修繕費が増加したものの、軽油単価が下がったことによる動力費の減少などの影響により、前期比0.6%(15百万円)減の2,547百万円となりました。

この結果、当期の営業損益につきましては前期比63.9%(84百万円)増の216百万円、経常損益につきましては前期比36.9%(59百万円)増の219百万円となり、増収増益となりました。

(単位：千円、%)

区 分		当 期	前 期	増減額	前期比
主な 収入	旅客運輸収入	1,286,297	1,313,630	△27,333	97.9
	運輸雑収入	1,476,724	1,379,681	97,043	107.0
営業収益 計		2,763,021	2,693,311	69,710	102.6
主な 費用	修繕費	906,077	869,302	36,775	104.2
	動力費	282,878	319,225	△36,347	88.6
	減価償却費	420,892	435,650	△14,758	96.6
営業費用 計		2,546,883	2,561,406	△14,523	99.4
営業損益		216,138	131,905	84,233	163.9
経常損益		218,646	159,702	58,944	136.9

(3) ダイヤ改正等

智頭線内のダイヤ改正は実施しませんでした。また、昨年ダイヤ改正で導入した「恋山形駅への列車利用促進を目的として、土日及び休日等に上り・下りの普通列車各1本計2本を恋山形駅に25分間停車させる」ダイヤは、引き続き実施することとしました。

なお、JRグループでは2020年春のダイヤ改正を3月14日に実施されました。

(4) 安全対策等の実施状況

安全対策につきましては、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする企業風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、社員一人ひとりが、「安全最優先の意識の醸成」を図るとともに、部外機関との協力体制の確立に向けて、沿線の消防署、警察署と協議や訓練を実施するなど連携を深めて参りました。また、「激甚化する自然災害への備え」「設備の老朽化対策」を推進し、安全の確保と品質の維持向上に努めました。

また、施設設備及び車両については、新たに2019年度からの「中期経営計画2023」の投資・修繕計画に沿った修繕及び更新を実施して安心・信頼していただける鉄道の提供に取り組みました。

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
線 路	第3宗行高架橋修繕	44,000	
	志戸坂トンネル特別全般検査、叩き落とし	14,000	
	恋山形構内・小股高架橋修繕 (R6-3)	14,800	補

	第2佐用高架橋修繕	18,115	
	小計	90,915	
車両	HOT3500系全般検査及び臨時修繕工事	16,000	
	HOT7000系冷房装置整備工事	18,000	
	ブレーキノッチ及びガイダンス表示器更新工事	13,000	
	小計	47,000	
	合計	137,915	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
線路	峠トンネル落石防護工新設	13,000	
	小計	13,000	
電路	岩木外1ATS-P装置更新	65,000	補
	小計	65,000	
車両	HOT7000系冷房装置更新	98,000	
	小計	98,000	
	合計	176,000	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000千円以上の工事を記載しています。

(5) 企画きっぷの発売状況

JR西日本と連携の企画きっぷであります「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」の4種類の発売状況は、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染症の影響で旅行、企業の出張の自粛等が行われたこと等により、東京・京阪神方面は第4四半期では39.6%減少し、第34期の累計では10.5%減少、広島・岡山方面は第4四半期では27.1%減少し、第34期の累計では5.9%減少と大幅な減少となりました。

また、かに漁解禁に伴い11月7日から3月21日まで発売しました「かにカニ日帰りエクスプレス」の発売状況は、前期比11.4%減となりました。

智頭線内独自の特急列車関係の企画きっぷにつきましては、定期券と同時にご利用可能な「定期券用自由席回数特急券」は前期比36.3%増、普通乗車券又は普通回数券と同時にご利用可能な「自由席回数特急券」は前期比11.7%増となりました。

普通列車関係の企画きっぷにつきましては、車内でも購入できます「智頭線1日フリーきっぷ」をはじめ、他の4種類の企画きっぷとも前年を上回る増加となりました。

〔企画きっぷの発売実績〕

ア. JR西日本と連携

(ア)従来の特別企画切符

(単位：枚、%)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第34期計(前期比)
-------	-------	-------	-------	-------	------------

東京往復 割引きっぷ	821 (96.9)	1,001 (100.8)	925 (92.4)	671 (62.8)	3,418 (87.4)	△492
京阪神往復 割引きっぷ	11,531 (102.2)	11,387 (102.3)	11,367 (92.9)	6,605 (60.2)	40,890 (89.6)	△4,733
広島往復 割引きっぷ	4,234 (96.1)	4,376 (109.6)	3,869 (94.7)	2,782 (74.1)	15,261 (94.0)	△977
岡山往復 割引きっぷ	3,865 (105.7)	4,047 (106.8)	3,920 (93.9)	2,836 (71.7)	14,668 (94.2)	△908

(イ) 駅プラン「かにカニ日帰りエクスプレス」

(単位：人、%)

	エリア	京都	大阪	神戸	岡山	合計	前期比
2019	鳥取	37	97	527	126	787	67.3
	三朝温泉	73	365	1,094		1,532	89.8
	はわい温泉	76	283	710		1,069	112.4
	合計	186	745	2,331	126	3,388	88.6
2018	鳥取	27	170	679	293	1,169	
	三朝温泉	96	325	1,285		1,706	
	はわい温泉	45	348	558		951	
	合計	168	843	2,522	293	3,826	

イ. 智頭急行独自

(ア) 特急列車関係

商品名	発売枚数 (前期比)	利用期間	販売額	付記
定期券用自由 席回数特急券	1,037冊 (136.3%)	通年	自由席特急券430円を1枚 200円 5枚綴り1,000円	定期券をご利用のお客様
自由席回数特 急券	143冊 (111.7%)	通年	自由席特急券430円を1枚 300円 5枚綴り1,500円	普通乗車券又は普通回数 券をご利用のお客様

(イ) 普通列車関係

商品名	発売枚数 (前期比)	利用期間	販売額	付記
智頭線1日フリ ーきっぷ	8,031枚 (102.1%)	土休日 及び 7/1~9/30 12/10~1/10 3/1~4/10	大人 1,200円 小児 600円	普通列車に限り1日乗り 放題(自由席特急券購入 により特急列車利用可)
普通列車ペア きっぷ	1,035枚 (145.6%)	通年	2名で2,000円	2名が同時に同一行程で 使用 普通列車に限り2日乗り 放題(特急利用不可)
特殊回数乗車 券	97冊 (149.2%)	通年	3,000円 (100円券・33枚綴り)	普通列車に限り使用
楽ラクきっぷ	127冊 (119.8%)	通年	2,500円 (100円券・33枚綴り)	70歳以上の方で普通列車 に限り使用
優ユウきっぷ	78冊 (123.8%)	通年	1,500円 (100円券・33枚綴り)	運転免許証返納者の方で 普通列車に限り使用

(6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進につきましては、特に京阪神地区からの誘客を目的にJR三ノ宮での広告宣伝看板の設置並びにJR、自治体等と連携してのJRの京阪神主要駅(7駅)及び岡山駅でのキャラバン・PR活動の実施等により、山陰方面の魅力発信に努めてきました。

智頭線の利用促進につきましては、当社独自の企画きっぷのパンフレットを刷新し、沿線市町村の観光関係個所への配布、駅窓口等での広報・宣伝等に努めました。また、イベント列車の運行につきましては、当社ホームページ等への掲載、チラシの配布、マスコミを通しての情報提供等を行い、お客様への周知を図りました。具体的には、貸切団体臨時列車として「あまつぼし(天津星)」を使用し、西粟倉チーズ観光協会主催の「チーズエクスプレス」、智頭急行社員の企画・立案による各種イベント列車(4団体)等を催行し、誘客に努めました。

更に、利用促進や地域の活性化に資するよう智頭急行社員の企画・立案によるウォーキングイベント「ぶらり散策まち歩き」を大原駅～宮本武蔵駅間で地元ボランティアガイドの協力を得て開催しました。また、智頭線利用促進協議会の補助を受け、智頭線沿線の5市町村の8施設にご協力をいただいでスタンプラリーを実施しました。

智頭急行開業25周年記念の取組みとして、智頭線沿線の皆様に感謝の気持ちと、未永く智頭線をご愛顧いただくために、市町村合併前の沿線町村内にある幼稚園・保育園等を対象に「1日乗り放題団体ご招待券」(ご利用期間：2019年12月3日～2020年12月31日)の贈呈を行いました。また、日本郵便(株)に作成していただいたオリジナルフレーム切手「智頭線四季の風景～智頭急行開業25周年記念～」の販売を行いました。

その他、沿線のイベント等に参加する等して、PR活動等を行いました。

2. 会社に対処すべき課題

(1) 安全輸送

- ・安全最優先の意識の浸透、安全最優先の判断力の向上等による安全文化の醸成
- ・激甚化する自然災害への備え、施設・設備の老朽化対策等による安全の確保及び品質の維持向上

(2) CS向上(お客様満足度の向上)

- ・お客様のニーズを敏感に捉えた接客技術の向上及び設備の改善
- ・お客様がご利用しやすい商品の提供

(3) 地域社会

- ・地域の活性化を目指した地域との共生と共創
- ・地域の魅力(観光資源等)の情報発信

(4) 財務運営

- ・収入の安定確保、効率経営等による経営基盤の強化

(5) CSR（企業の社会的責任）

- ・コンプライアンスの強化、公正で健全な企業活動等により、地域社会から信頼される企業を目指す

(6) 人材育成

- ・知識及び技術・技能の向上及び継承をめざした人材育成
- ・JR西日本、協力会社等と連携した人材育成

(7) ES向上（従業員満足の向上）

- ・明るく働きがいのある職場環境づくり
- ・社員の健康維持・増進等

(8) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・「手洗いの徹底」、「マスクの着用」などの感染拡大防止対策の徹底
- ・社員感染時に迅速・的確に対応できる組織づくり（業務継続等）
- ・JR西日本等と連携した適時適切な対応
- ・前例主義に囚われない作業方法・手順についての見直し

3. 営業成績及び財産状況の推移

区 分	第31期	第32期	第33期	第34期(今期)
営業収益(千円)	2,749,888	2,794,045	2,693,311	2,763,021
当期純利益(千円)	271,163	152,224	111,788	147,910
1株当り当期純利益(円)	30,129.25	16,913.81	12,420.88	16,434.46
資産合計(千円)	6,078,244	5,956,445	5,932,684	6,060,434

II. 会社の概況（2020年3月31日現在）

1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主 別掲のとおり

なお、当社の大株主への出資はありません。

4. 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	6	△1	42.2	18年 11ヶ月
運輸部	63	△4	39.1	16年 9ヶ月
合計	69	△5	40.4	16年 11ヶ月

※常勤役員(2人)、契約社員(6人)を除く

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	6,060,433,875	負債の部	321,790,323
流動資産	3,682,807,284	流動負債	321,790,323
現金・預金	2,593,785,637	未払金	215,768,920
未収運賃	370,498,175	未払費用	6,316,898
未収収益	1,781,237	未払法人税等	45,235,800
有価証券	400,816,889	未払消費税等	32,927,000
貯蔵品	288,785,279	前受運賃	1,379,162
前払費用	8,709,179	預り金	1,881,973
未収入金	18,430,888	前受収益	18,280,570
固定資産	2,373,940,174		
鉄道事業固定資産	2,371,295,114		
有形固定資産	2,352,040,339		
無形固定資産	19,254,775	純資産の部	5,738,643,552
投資等	2,645,060	資本金	450,000,000
差入保証金	2,020,000	利益剰余金	5,288,643,552
その他	625,060	利益準備金	2,700,000
		その他の利益剰余金	5,285,943,552
		別途積立金	2,720,000,000
繰延資産	3,686,417	固定資産圧縮積立金	2,410,000,000
開発費	3,686,417	繰越利益剰余金	155,943,552
資産合計	6,060,433,875	負債・純資産合計	6,060,433,875

損 益 計 算 書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

	科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部	鉄道事業営業利益		
	営業損益の部		
	営業収益		
	旅客運輸収入	1,286,296,696	
	運輸雑収	1,476,724,569	2,763,021,265
	営業費		
	運送費	1,936,938,205	
	案内宣伝費	12,980,103	
	厚生福利施設費	1,599,943	
	一般管理費	102,077,665	
	諸税	72,395,569	
	減価償却費	420,891,962	2,546,883,447
	鉄道事業営業利益		216,137,818
	営業外損益の部		
	営業外収益		
受取利息	12,328,538		
雑収入	2,205,471	14,534,009	
営業外費用			
支払利息	172,833		
繰延資産償却	1,161,014		
雑支出	10,692,281	12,026,128	
經常利益		218,645,699	
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	固定資産売却益	110,124	
	その他の特別利益	18,412,690	18,522,814
	特別損失		
	固定資産除去損	11,351,737	
固定資産圧縮損	12,372,217	23,723,954	
	税引前当期純利益		213,444,559
	法人税等		65,534,400
	当期純利益		147,910,159

株主資本等変動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金							
		資本準備金	その他 資本剰余金		その他利益剰余金							
					別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金					
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,720,000,000	2,300,000,000	118,033,393	0	5,590,733,393	0	0	5,590,733,393
当期変動額												
剰余金の配当									0			0
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立									0			0
積立金の積立					0	110,000,000	-110,000,000		0			0
役員賞与の支給									0			0
過年度税効果調整額									0			0
当期純利益							147,910,159		147,910,159			147,910,159
当期変動額合計	0	0	0	0	0	110,000,000	37,910,159	0	147,910,159	0	0	147,910,159
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,720,000,000	2,410,000,000	155,943,552	0	5,738,643,552	0	0	5,738,643,552